

第6章

平成21年度水道事業会計決算

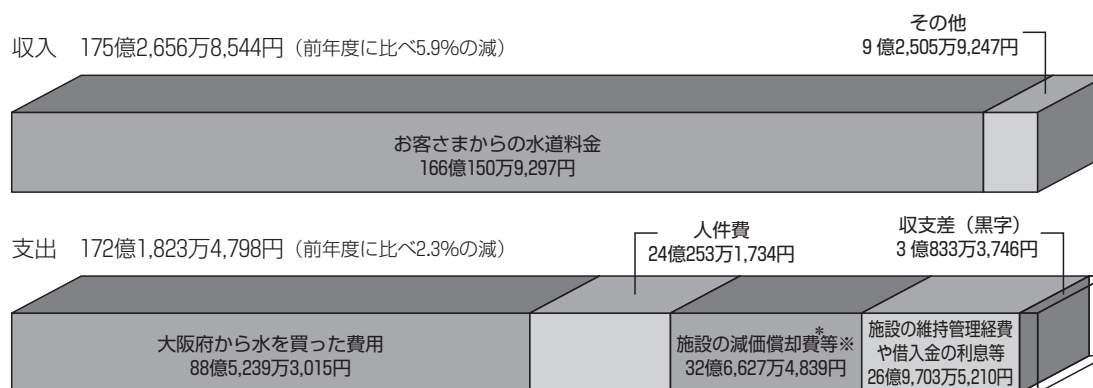
堺市の水道事業の主な財源は、お客さまからの水道料金や国からの借入金などです。これらの資金により将来にわたる水道施設の建設や改良、大阪府からの水道水の購入などを行い、お客さまの元に安全でおいしい水をお届けしています。



水道工事現場

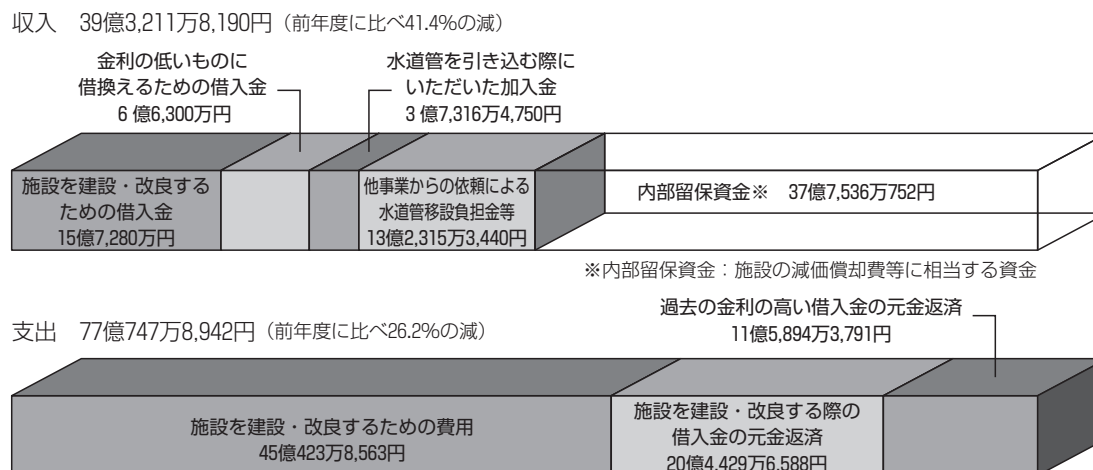
1. 決算の状況

安全で安心して飲める水道水を
ご家庭に送り届けるために必要な経費とその財源【税抜】



※減価償却費等：取得した財産が1年間に減少した経済的価値を経費として算定したものです。

水道管などの施設を建設・改良するために要した経費とその財源【税込】



2. 主な事業内容

災害に強い安心な水道づくり・もしもの時に備え

- ・水道管の耐震化（59,536m）
- ・石綿管^{*}の解消（320m）

安全でおいしい水の供給

- ・鉛製給水管の解消（2,606件）
- ・3階以上の建物への直結給水（1,383戸）

サービスの向上と親しみやすい水道の展開

- ・水道料金の引き下げ
- ・広報紙等での水道事業のPR

安定経営のための企業努力

- ・正職員数削減等による人件費の削減
- ・水道事業債の繰上償還や借換による後年度の支払利息の軽減
- ・計画的漏水調査の実施

※（ ）内の数字は平成21年度中に実施した実績値です。

管路耐震化率が

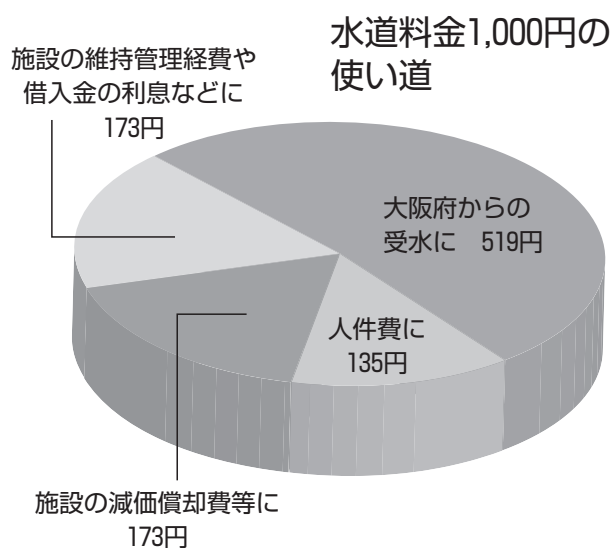
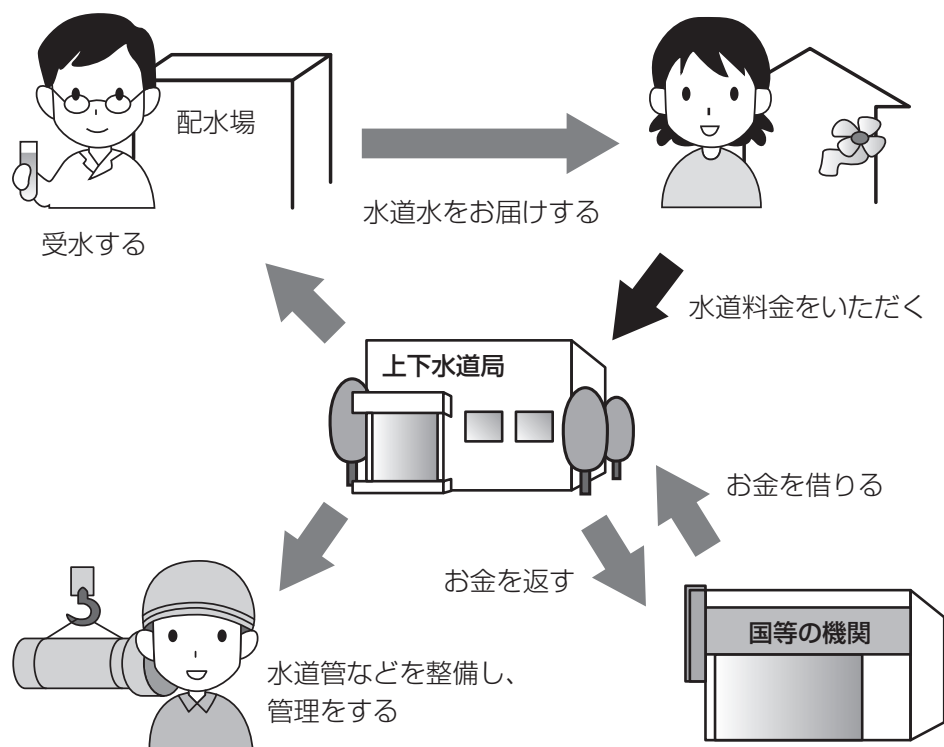
10.6%から13.1%に（2.5ポイント向上）

鉛製給水管率が

12.0%から11.3%に（0.7ポイント改善）

3. 水道料金の使い道

安全でおいしい水を安定的にお届けするために、お客さまからいただいた水道料金は次のように使われています。



ご家庭に水道水をお届けしたり、大阪府からの水の購入、施設の整備や維持管理等に必要な費用は主に皆さまからの水道料金で賄われています。

上下水道局では

市民の財産ともいえる安全でおいしい水を、これからも安定してお届けできるよう、効率的な運営に努めてまいります。

4. 事業概況

平成21年度は、新世紀第二次配水施設整備事業計画第一期（平成20～24年度）の2年目に当たり、いつでも安全でおいしい水をお客さまに供給するための施設整備に重点を置いた事業に取り組み、総額43億678万8,025円を投じて以下の事業を実施しました。

- 配水管整備事業
浪速第二共同溝鉄砲町分岐推進工事外
34路線（30,387m）
- 配水管改良事業

和田外配水管布設工事外
64路線（26,045m）

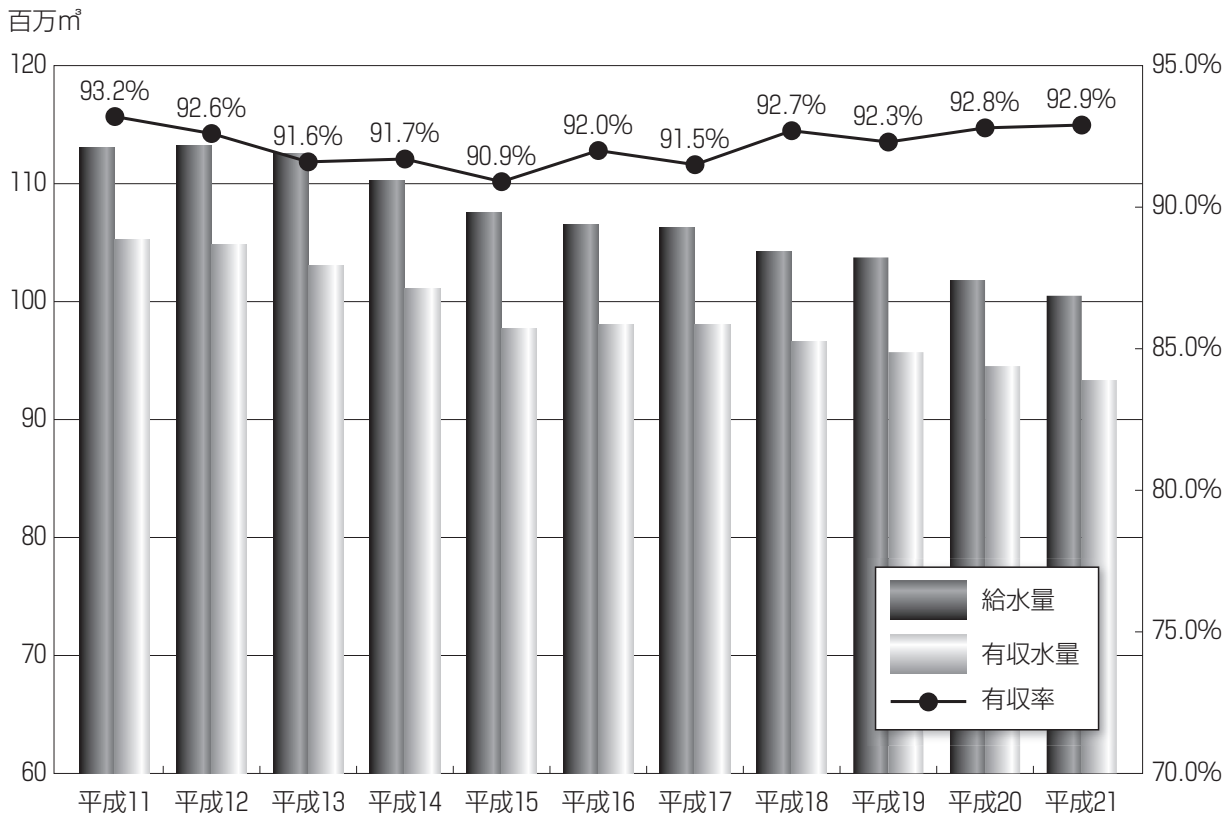
- 配水場改良事業
御池台配水池電気設備設置外工事など

5. 業務量の概況

給水人口は前年度から1,894人増加の85万725人に、給水戸数は前年度から366戸増加の38万1,295戸になりました。また、有収水量は前年度から1,181,616^m減少の93,348,426^mとなりました。

項目	平成21年度決算	平成20年度決算	増(△)減	増減率(%)
行政区域内人口	84万9,834人	84万7,775人	2,059人	0.2
給水区域内人口	85万869人	84万8,991人	1,878人	0.2
給水人口	85万725人	84万8,831人	1,894人	0.2
普及率	99.98%	99.98%	0ポイント	—
給水戸数	38万1,295戸	38万929戸	366戸	0.1
年間取水量	100,481,192 ^m	101,825,222 ^m	△ 1,344,030 ^m	△ 1.3
年間給水量	100,491,382 ^m	101,825,762 ^m	△ 1,334,380 ^m	△ 1.3
一日最大給水量	310,300 ^m	312,940 ^m	△ 2,640 ^m	△ 0.8
有収水量	93,348,426 ^m	94,530,042 ^m	△ 1,181,616 ^m	△ 1.2
有収率 [*]	92.9%	92.8%	0.1ポイント	—

給水量、有収水量、有収率の推移



6. 財政状況

収益的収入では、水道料金の引き下げや有収水量の減少等で、給水収益が8億3,011万1,194円減少したことなどから、前年度から11億821万531円減の175億2,656万8,544円となりました。

一方、収益的支出では、公的資金補償金免除繰上償還に伴い、低利率の企業債に借換えたこと等により企業債利息が2億2,566万7,316円減少したことや、人件費が1億7,393

万4,569円減少したこと等により、前年度から4億892万9,224円減の172億1,823万4,798円となりました。

この結果、本年度の経営成績をあらわす収益的収支差引額は3億833万3,746円の純利益を計上することとなり、前年度繰越利益剰余金25億9,798万4,599円を加えた当年度未処分利益剰余金29億631万8,345円のうち1,600万円を減債積立金（法定積立金）に積み立てました。

7. 前年度との決算額比較

(単位：円)

項 目		平成21年度決算	平成20年度決算	増(△)減	伸率(%)
収益的収支 (税抜)	水道料金	16,601,509,297	17,431,620,491	△830,111,194	△4.8
	その他	925,059,247	1,203,158,584	△278,099,337	△23.1
	収益的収入計	17,526,568,544	18,634,779,075	△1,108,210,531	△5.9
	受水費	8,852,393,015	8,970,802,058	△118,409,043	△1.3
	人件費	2,402,531,734	2,576,466,303	△173,934,569	△6.8
	減価償却費等	3,266,274,839	3,037,876,129	228,398,710	7.5
	支払利息	804,743,089	1,030,410,405	△225,667,316	△21.9
	施設修繕費	750,230,495	771,094,826	△20,864,331	△2.7
	その他	1,142,061,626	1,240,514,301	△98,452,675	△7.9
	収益的支出計	17,218,234,798	17,627,164,022	△408,929,224	△2.3
収益的収支差引 (純利益(△純損失))	308,333,746	1,007,615,053	△699,281,307	△69.4	
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	2,890,318,345	2,597,984,599	292,333,746	11.3	
資本的収支 (税込)	企業債	2,235,800,000	4,968,600,000	△2,732,800,000	△55.0
	国庫補助金	121,700,000	174,500,000	△52,800,000	△30.3
	加入金	373,164,750	396,132,500	△22,967,750	△5.8
	その他	1,201,453,440	1,168,083,563	33,369,877	2.9
	資本的収入計	3,932,118,190	6,707,316,063	△2,775,197,873	△41.4
	人件費	410,654,434	385,666,600	24,987,834	6.5
	建設改良事業費	3,888,160,809	3,212,069,557	676,091,252	21.0
	企業債償還金	3,203,240,379	6,677,269,129	△3,474,028,750	△52.0
	その他	205,423,320	164,231,468	41,191,852	25.1
	資本的支出計	7,707,478,942	10,439,236,754	△2,731,757,812	△26.2
資本的収支差引	△3,775,360,752	△3,731,920,691	△43,440,061	—	
年度末資金収支	9,079,546,675	9,105,948,742	△26,402,067	△0.3	